

もも・ネクタリン特報



収穫終了後のボルドー散布

本年におけるせん孔細菌病の果実被害は、全体的には少ない状況ですが、地域・品種によっては多発傾向です。特に、葉病斑や夏型枝病斑が散見される園地では、台風襲来等による風雨で落葉と感染が同時に起こり、次年度への越冬菌が増加します。

秋季ボルドー散布は原則として風雨（台風襲来等）の前に実施し、越冬菌密度を減らすよう努めましょう。

【せん孔細菌病対策 ボルドー液 散布日目安】 *発生園は、最低2回散布しましょう。

多発園は9月上旬～10月上旬に3回。 散布間隔は14日以内を厳守してください。

散布時期 散布品種	第1回 ボルドー散布	第2回 ボルドー散布	第3回 ボルドー散布
・早生種～中生種 ・晩生種(川白、黄金桃など)	収穫終了後(9月上旬～中旬)	第1回散布から 10～14日後	第2回散布から 10～14日後
・極晩生種(白根白桃など)	収穫終了後(9月中旬～下旬)	第1回散布から 10～14日後	

もも

下記のいずれかを選択して散布下さい

ボルドー体系

コサイド3000体系

隣接地への飛散(農薬汚れ等)が心配される場合

散布時期：9月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 100ℓ
4-12式ボルドー液 生石灰 1200g
硫酸銅 400g
スミチオン乳剤（3日前、6回） 100ml
KKステッカー（固着性展着剤） 33ml

対象病虫害：せん孔細菌病、モモハモグリガ、ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、カメムシ類

散布量：10a当たり 600ℓ

散布時期：9月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 100ℓ
コサイド3000 50g
KKステッカー（固着性展着剤） 33ml

対象病虫害：せん孔細菌病

散布量：10a当たり 600ℓ

*害虫対策としてスミチオン乳剤(3日目、6回)を加用してもよい。ただし、隣接地への飛散（収穫前規制、農薬汚れ等）に注意する。

【注意事項】

*KKステッカーは調合液をよく攪拌させながら必ず最後に加用する。

*KKステッカーに代えて、アビオンEの1000倍でもよい。

①台風等で強風・降雨が予想される場合は、風雨前の予防散布を徹底する。

②ボルドー液に代えて、ICボルドー412の30倍(水100ℓに3.3kg)でもよい。

③コスカシバの発生園は、落葉後に劇ラビキラー乳剤200倍（休眠期・1回）を樹幹および主枝へていねいに散布する。

第1回

散布日 月 日
散布量 ℓ

第2回

散布日 月 日
散布量 ℓ

第3回

散布日 月 日
散布量 ℓ

ネクタリンの防除は裏面をご覧ください

ネクタリン

下記のいずれかを選択して散布下さい

ボルドー体系

コサイド 3000 体系

隣接地への飛散(農薬汚れ等)が心配される場合

散布時期：9 月上中旬～（収穫終了後）

散布薬剤：

水

1 0 0^{リットル}

I C ボルドー412

3. 3 k g

劇ダイアジノン水和剤 34（21 日前、3 回）

1 0 0 g

KK ステッカー（固着性展着剤）

3 3 ml

対象病害虫：せん孔細菌病、シンクイムシ類、
ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ若齢幼虫

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0^{リットル}

散布時期：9 月上中旬～（収穫終了後）

散布薬剤：

水

1 0 0^{リットル}

コサイド 3 0 0 0

5 0 g

KK ステッカー（固着性展着剤）

3 3 ml

対象病害虫：せん孔細菌病

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0^{リットル}

*害虫対策としてダイアジノン水和剤 34(21 日前、3 回)を
加用してもよい。ただし、隣接地への飛散（収穫前
規制、農薬汚れ等）に注意する。

【注意事項】

*KK ステッカーは調合液をよく攪拌させながら必ず最後に加用する。

*KK ステッカーに代えて、アビオン E の 1000 倍でもよい。

①台風等で強風・降雨が予想される場合は、風雨前の予防散布を徹底する。

②コスカシバの発生園は、落葉後にガットキラー乳剤 100 倍（休眠期・3 回）または、トラ
サイド A 乳剤 200 倍（幼虫食入期、3 回）を樹幹および主枝へ、ていねいに散布する。

第 1 回

散布日

月

日

散布量

リットル

第 2 回

散布日

月

日

散布量

リットル

第 3 回

散布日

月

日

散布量

リットル

◆殺菌剤「コサイド 3 0 0 0」の特徴について（ボルドー液の散布との比較）

有効成分：水酸化第二銅 46.1％ 規格：500 g

もも・ネクタリン使用基準・・・使用濃度：2,000 倍 使用時期：収穫後から落葉まで

他作物への農薬登録（果樹）：りんご・ぶどう・おうとう （プラム・梨の登録はない）

メリット

- ・農薬汚れが少ない
- ・散布薬剤の調合が容易（水和剤のため）

デメリット

- ・残効性が劣る（ボルドー液の残効は 10～14 日、コサイド 3000 は 7～10 日とされています）

- *せん孔細菌病対策としては、ボルドー液の散布をおすすめしております。コサイド 3000 は、補助手段としてご活用下さい。
- *農薬汚れは少ない薬剤ですが、他の薬剤散布と同様、隣接地には飛散しないようご注意下さい。

毒物・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください